

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|----|----------------|
| ○事業所名 | 第二舞子坂音楽堂児童デイサービス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 12月 18日 | | ～ 2025年 1月 16日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 33 | (回答者数) 27 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 12月 18日 | | ～ 2025年 1月 16日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 1月 24日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 音楽活動を通じて自己表現の幅を広げる、意思疎通のツールを増やす、自己肯定感の向上などにつながるアプローチに力を入れています。音楽療法士やプロのミュージシャンによるより高度な取り組みも強みの一つです。 | スキルアップはもちろんの事、楽器演奏によっての表現の幅が広がるようなアプローチを心掛けています。表現が苦手な方も楽器ならうまく伝えられたり、発語に繋がるアプローチも積極的に取り組んでいます。意思決定の向上にも音楽活動の中で培っていただけるよう工夫しています。 | 集団での音楽活動以外にも個々の特性に合った対応(個別での対応など)も行っています。それによって演奏面でのスキルアップや、より特化した自己表現の方法の確立などにも取り組んでいきます。 |
| 2 | 地域の施設や公園への外出を実施しており、様々な体験活動にも力をいれています。利用者の新たな可能性の発見や、室内では中々見られない生き生きとした姿も提供していきま | 感受性を豊かにできるように様々な体験に参加できるよう工夫をしています。梨狩りなどの収穫体験や博物館への外出で興味の幅を広げる手助けなども意識して療育プログラムに取り入れています。 | 公園への外出の際は、体を動かす事に対する抵抗感を軽減し、運動の促進につなげていくようなアプローチも取り入れています。 |
| 3 | 季節ごとの壁面製作やクッキング活動等、多岐に富んだ活動プログラムを提供し、手先の器用さの向上、活動を通じて集中力の向上を図ると同時に利用者の興味の幅を広げる活動を支援しています。 | 様々な職員の立案を行い、活動プログラムに偏りが起きないように工夫して取り組んでいます。またプログラムの中に利用者の特性を生かした行程を取り入れて自己肯定感の向上を図っています。 | 利用者の意見も汲み取り、次回の活動の際に取り入れることで利用者の意欲向上も図り支援内容の充実化にも繋がっています。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 外部機関との繋がりが希薄で地域での活動に関してもつながりを持てる場面が少ない。 | 放課後児童クラブや児童館との交流を持てる場面がなく、地域の行事への積極的な参加もできていなかった。 | 放課後児童クラブや児童館等の地域との交流も検討し、それに伴う新しい支援方法も考えていく必要がある。 |
| 2 | 第三者による外部評価について、評価表という有形の形で評価されておらず、無形の評価を基にしか業務改善に繋がっていない。 | 第三者による有形評価の方法に対する情報認識。 | 第三者に対する有形評価の方法に対する情報を取得し、当法人により友好的な方法を取捨選択しより良い表無改善が見込まれる状況を選択していく。 |
| 3 | 児童発達センターとの直接的な連携事例が少なく、スーパーバイズや研修を受ける機会の頻度が少ない。 | 利用者様の状況に、児童発達支援センターとの濃密な関係性がある事例が少なく、その状況に至っていない。 | 必要に応じて児童発達支援センターとの友好的な連携方法を検討し、より良い支援提供ができる環境を整備し、業務改善に努めていく。 |

| | |
|------|------------------|
| 事業所名 | 第二舞子坂音楽堂児童デイサービス |
|------|------------------|

公表日 2025年1月28日

利用児童数 33

回収数 27

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|-----------------------|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 20 | 2 | 0 | 3 | | 安全に配慮し、のびのびと過ごせるような環境構成に引き続き努めています。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 20 | 1 | 0 | 6 | | 基準を満たしております。さらに状況に応じて増員し、より手厚いサポート体制を整備していきます。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 22 | 0 | 0 | 5 | 思います。 | 足が不自由な利用者様など、その方の特性に応じた配慮・支援を考えながら応じていきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | 21 | 0 | 0 | 6 | 思います。 | 全職員が衛生面への知識をしっかりと身につけていけるよう内部研修の実施や外部研修へも積極的に参加していきます。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 20 | 5 | 0 | 2 | 思います。 | より良い支援方法を模索して、利用者様に合った方法をその都度支援してまいります。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 26 | 0 | 0 | 1 | 思います。 | 今後も適正な支援プログラムに準じた支援を提供し、随時、より良い支援が提供できるよう改善します。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 26 | 0 | 0 | 1 | 思います。 | 本人主体をベースに、今後もご利用者様一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。 |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 25 | 1 | 0 | 1 | 思います。 | 本人主体はもちろんの事、さまざまな意見や方法を取り入れ、より良い支援提供者として、ご利用者様に接していきます。 |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 25 | 0 | 0 | 2 | 思います。 | ご利用者様の発達に寄り添える支援者となれるよう、職員それぞれが知識と経験を深めていく事に努めていきます。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 24 | 1 | 0 | 4 | 思います。 | 季節感のあるプログラムや成長発達に応じたプログラム構成に今後も努めてまいります。 |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 15 | 2 | 1 | 10 | 私が理解していないだけかもしれませんが。 | 地域とのつながりを広げていき、今後、ニーズや社会情勢に応じて検討していきます。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 26 | 0 | 0 | 1 | 面談の際にありました。 | ご利用者様に安心してご利用いただくために、説明が不十分にならないよう丁寧な説明を心掛けていきます。 |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 26 | 0 | 0 | 1 | | 今後も、定期的なモニタリングで計画の見直しをおこない支援をしてまいります。 |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 16 | 9 | 0 | 2 | | ご家族のよりよい関係づくりのサポートを行うためにも、今後スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充をおこなっていきます。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 25 | 2 | 0 | 0 | 思います。 | 今後も継続して、ご家族様のご相談により良い対応できるよう努めてまいります。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 25 | 2 | | 0 | | 今後も、定期的なモニタリングで計画の見直しをおこない支援をしてまいります。 |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | 思います。 | 充実した生活が送れるように、より良い支援体制を整備し継続していきます。 |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 13 | 2 | 3 | 9 | | 定期開催のクリスマス演奏会やジェンバ大会にぜひご来場いただき、親子でイベントを楽しんでいただければと思います。 |
| | 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 24 | 0 | 0 | 3 | 対応して頂いています。 | 今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。 |
| | 20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 26 | 1 | 0 | 0 | 思います。 | 今後も継続して支援ができるように、環境整備やスキルアップに努めてまいります。 |
| | 21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 23 | 2 | 0 | 2 | | 常に、良好な情報提供が可能になる方法について精査し、より良い情報提供に努めてまいります。 |
| 22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 25 | 1 | 0 | 1 | 思います。 | 今後も細心の注意を払って対応していきます。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--------------|--|
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 22 | 1 | 0 | 4 | | 訓練をする児童にも実際の有事に備えた訓練になるように開催していきます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 20 | 1 | 0 | 6 | | 訓練をする児童にも実際の有事に備えた訓練になるように開催していきます。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 22 | 1 | 0 | 4 | 思います。 | 日々のマンネリ化に流されないように意識を持ち、常に「かもしれない」と安全に対する意識を高めて、支援していきます。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 24 | 0 | 0 | 3 | 思います。 | 報告業務が滞らないように、職員間の報告方法の精査と有効的な取り組みを今後も継続していきます。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | | 引き続き安心で安全な時間を過ごせるように、提供サービスや人材育成を継続的に過ごします。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 27 | 0 | 0 | 0 | | 引き続き、楽しんで過ごせるように、提供サービスや提供プログラムをより良いものへ日々改善していきます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 26 | 1 | 0 | 0 | 良くいただいております。 | ご利用者様の満足度が高まるように、全般的な業務内容の精査・評価をおこない、より良いものへ改善していきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 第二舞子坂音楽堂児童デイサービス | | 公表日 2025年1月28日 | | |
|----------|----|--|----|----------------|--|---------------------------------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 1 | 別の籠を用意するなどの対応を検討する。 | ロッカーのサイズが小さく、児童の荷物が多い際はあふれそうになることもある。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 1 | | 時間帯によっては少ないこともあるので改善の余地があり。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 1 | | 足が不自由な利用者に対し入り口を広くするなどの配慮が必要に感じる。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 1 | 活動内容に応じて、その空間に適した空間づくり（ダンス活動の際はマットを敷く等）を提供している。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 1 | 目隠しの板を使用しての簡易的な個別空間を作り対応している。 | 個別に対応する空間が必要だと感じるときがある。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 2 | 職員間の話し合いの時間の代わりにLINEで困った出来事などの共有はできている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | | 改善店や指摘された際は、職員間で共有し対策案を導入していく。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 時間のある時は職員間で話し合いができるような空気作りはできている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | | 現状執行りておらず。今後検討していく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | 1 | | 以前に比べ社内研修の頻度が少なくなってきたので要検討。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | 個々と全体の状況に合わせた療育プログラムを児発管を中心にスタッフ全体で考案しHPIに公表している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | | 面談によってニーズを聞きそのニーズに沿った計画案を作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | 1 | 職員間でしっかり共有し、計画に沿った活動を支援していく。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 1 | アセスメントシート、ケース記録システム等の活用の事例をパート職員とも共有していく必要がある。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | 5領域プログラムに沿って音楽堂ならではの音楽療育的アプローチを取り入れつつ、本人支援、地域連携等実現に向けて活動できている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | 活動プログラムの立案を様々な職員が行えるように今後も話し合いをしながらプログラムの計画を立てていく。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | 1 | 季節の活動や壁面製作など職員間で工夫し取り入れるようにしている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | 個々の発達段階に応じ適切に対応していく。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | | 話し合いができない場合は、別時間を設けている。 | 支援時間前の話し合いができない場合もある |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 2 | 毎回ではないがその日の困ったことや出来事を共有し、対策を立てるようにしている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | ケース記録を記入し、改善点があれば次回の療育に繋げている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | 個別支援計画作成のタイミングで定期的にモニタリングを実施している。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 4 | 1 | 主に音楽活動を通して、社会性や日常生活の充実に図り支援している。 | |
| | 25 | 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | | 職員からの押し付けにならないように配慮し、児童主体の選択ができるように支援している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | 管理者と対象のクライアントとの関わりが特に深い職員がなるべく同席できるように配慮している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | 利用者のニーズがあれば取り入れる等検討する。 | 地域との交流はなかなかできず。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 5 | | 送迎時等に、学校での様子や事業所での様子などの情報を共有し、連携が必要な際は密に連絡を取り行っている。 | 送迎時間内のみの今日烏有になるので具体的な話し合いなどはできていない。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 2 | 現在未実施。 | 必要に応じて就学前の事業所との情報共有をプライバシー等に配慮しつつ実現していく。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 1 | 現在未実施。 | よりスムーズに移行できるよう卒業後の事業所との情報共有をプライバシー等に配慮しつつ実現していく。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 2 | 3 | 現在未実施。 | 今後必要に感じた際は適切に対応できるように検討していく。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | 5 | 現在未実施。 | 利用者保護者とのニーズのすり合わせもを行い、適切に対応を検討する。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 1 | 4 | 現在積極的な参加はできておらず。 | 今後必要に感じた際は適切に対応できるように検討していく。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | 帰りの送迎時や面談時に話し合いの場が持たれている。 | より良い情報提供ができるように職員のスキルアップを継続的にやっていく。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 2 | 現在未実施。 | 今後ニーズを把握し、研修開催も検討していく。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | 契約時、モニタリング面談時等に確認している。保護者よりの問い合わせにもその都度説明していく。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | アセスメントの段階より本人とその家族主体のニーズに沿って、提供出来るサービスの提案を心がけている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | | 常に丁寧な説明を心掛け、よりよい理解に向けたアクションを実施していく。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | 今後も継続して支援ができるように、職員のスキルアップや話しやすいようコミュニケーションを深めていく。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 5 | | ニーズがあれば機会の創設を検討して行く。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | 報告業務が滞らないように、職員間の報告方法の精査と有効的な取り組みを今後も継続していく。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | 公式LINEにより保護者との密なやり取りはできている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | 「個人情報の取り扱いについての同意書」をかわしそれに準じて対応していく。 | |

| | | | | | | |
|---------|--|---|---|---|--|--|
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | 個々の意思表示の方法を把握し、その幅を広げられるように支援している。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | 1 | クリスマスコンサートなど地域の方を招待する行事も開催している。福祉フェアなど地域主催の行事にも毎年参加している。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 5 | | マニュアルの存在について、パート職員、家族への周知徹底を行う。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 5 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | 連絡ノートや公式LINEにて児童の服薬や予防接種に情報を把握している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | | おやつやクッキング活動の際にはアレルギーに十分配慮して提供している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | | BCP等、策定見直しのタイミングで各利用者、職員に情報の共有を強化していく。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | 毎年虐待研修を社内にて実施し、職員の認知を行っている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5 | | | | |